

■ふじいでら春季ウォーク 古市古墳群—観梅と巨大古墳と石棺と—3月2日(土)

早春の穏やかな日利に恵まれ 147名の皆様が、満開の梅が香る道明寺天満宮から出発しました。仲間たちと利き酒を楽しみに、橿原市からは奈良の歴史遺産は見尽くして、また古墳に関心があってと今城塚古墳の近くから参加のご夫婦など様々な地域から色々な興味と期待を持ってお越しです。

天満宮の復元修羅から始まり、修羅出土の三ツ塚古墳、住宅建設で消滅し古墳公園として復活した盾塚古墳。圧倒的に巨大な応神天皇陵古墳や登って四季の花と展望が楽しめる古室山古墳など、古墳の多さと歴史に驚きの声が聞かれました。

仲姫命陵古墳の堤の途中にある沢田八幡神社では社殿と鳥居の間を電車が通り「ほおー」と感嘆の声と共に笑顔がこぼれた、藤井寺の珍百景。

市立図書館で重要文化財の小修羅や和紙で作ったジオラマ『古墳をつくる』を見学した後、大井ふれあいランドの広場で眺望を満喫しての昼食です。

午後は梅と菜の花が満開の津堂城山古墳へ、ここで発掘された水鳥や衝立の大きな形象埴輪、重厚な石棺のレプリカはいっきに古代に誘います。

世界遺産を目指す古市古墳群の多彩な魅力と一緒に歩いて下さった方々と共感できた一日でした。本ウォークにご協力いただいた藤井寺ライオンズクラブ、藤本酒造醸様はじめ関係の皆様ありがとうございました。

(2019/3 山本)



古室山古墳



道明寺天満宮